



新年のごあいさつ

高浜市議会議長 杉浦辰夫

新年あけましておめでとうございます。日ごろより市政ならびに市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、ここ何年か続いている自然災害や少子高齢化に伴う介護、認知症といった問題が相変わらず取りざたされています。また、テレビでは、心の問題、身体の問題に関する健康番組を毎日のように、どこかのチャンネルで取りあげています。

一方、スポーツ界では、若いアスリートたちが日本を飛び出して世界で活躍しております。また、愛知県人の藤井四段が、将棋界の最年少での連勝新記録を打ち立てたり、沖ノ島の世界遺産登録、眞子さまのご婚約など、うれしいニュースも聞かれましたし、トヨタとマツダが業務提携を行い、名古屋ではJRゲートタワーや新バスターミナルがオープンするなど、この地方では新しい躍動の息吹が強く感じられます。

高浜市では、新庁舎が稼働してから1年が経過しました。私たちの活動の場である議場も、多目的型の利用が可能になりました。市役所へおいでになった皆さまには一度で用事がすむよう努められており、高浜高校生と市内企業のコラボレーション、住民対話型AI実証実験への参加、豊田町地区の工場用地の造成もされています。

本年は、第6次総合計画の仕上げである後期基本計画4年のスタートの年となります。また、公共施設のあり方検討も継続されており、高浜小学校等整備事業で校舎の本体工事が昨年末に起工され、これから本格的に進んでまいります。

これからの社会は経験則が通用せず、未知の領域を進まなければいけないと言われていています。私ども市議会も二元代表制の権能を十分に発揮し、多くの企業が新たな分野にチャレンジするように議会改革を常に考え、市民の皆さまの負託に応えるべく、少しでも明るい高浜の未来をお示しできるように努めてまいります。

最後に、市民の皆さま方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。